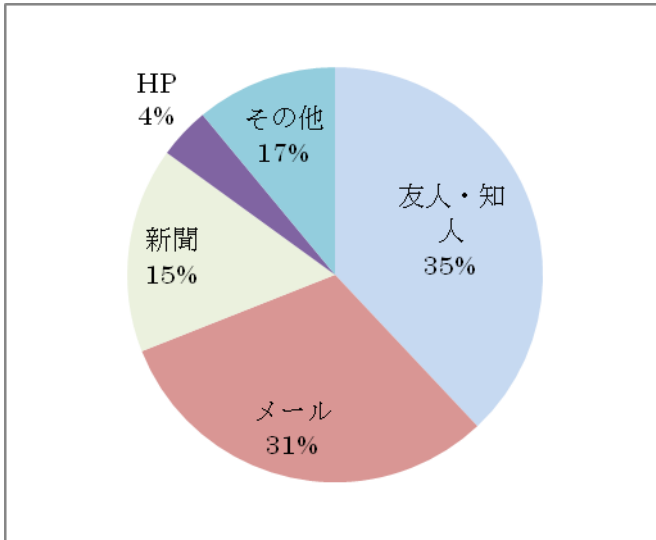


「サシバ・ハチクマ等のタカの渡り勉強会」アンケート結果

アンケート回収数 56 通（紙 48 枚 会員ネット回答 8 通）

1、 この会を何で知りましたか。（回答数 48）



- ・友人・知人の紹介 17 (35%)
- ・カワセミ会からのメール等 15 (31%)
- ・新聞 7 (15%)
- ・カワセミ会 HP 2 (4%)
- ・その他 8 (17%)

2、 本日のお話して興味があったこと、参考になったこと、感想などをお願いします。（裏面も活用下さい。）

① 全般

- ・それぞれの発表者の熱心な話は大変勉強になりました。
- ・講師の皆さんが皆熱心な研究者であること、また 聴衆の数の多さにも感心しました。
- ・どのお話にも興味深かった。渡りのルートの話、ハチクマの生態おもしろかった。
後半の久野さんのお話は興味深くお聞きしましたが、クーラーの冷え過ぎで（私が薄着だったため）体調不良になり途中で退席、貴重なお話を最後まで聞けずに残念でした。
- ・サシバの渡りの調査はもっと大規模にダイナミックにしなければという思いを持った。
- ・各地で観測されるデータは点のデータでありこれを線にしていくには、各地のグループの協力(測定方法、測定時間など)が大切になるでしょうね。
- ・不明な部分が多いが、科学的な推測も楽しそうですね。
- ・渡りの集大成が見たいと思います。うずもれたデータが沢山ありそうですね。
- ・情報は新しいのが良い。参考多し、今後も期待しています。
- ・各地域の活動（グループでの）が熱心で驚きました。
- ・水田の減少、耕作放棄によるサシバの減少。冬水たんぼ、水はり等何か出来ることは？
- ・いずれも興味深いものでした。
- ・ハチクマの最新情報、ご三方の発表はすばらしく時間が不足でした。
- ・観察調査の方法やフォーマットを統一できれば調査地どうしデータの比較がよく深まるのでは？
- ・サシバ等タカ類の渡りには大変興味があります。まだ、野鳥の知識などは未熟ですが、長野県白樺峠等の渡りを数回見させていただき、渡りに対するタカ類の動線、衝動等科学的（物質的・知識的傾向…）にも関心があります。

サシバ、ハチクマは九州以西ではルートが南西諸島と中国大陸に分かれて行く様(?)ですが果たしてどのルートを取って渡るのか? どこがどの様な理由により分岐点となっているのか?等、関東の者(当方には)には未知の部分も多く、今後勉強、調べてみたいと思っております。

中央構造線、フォッサマグナ等断層添いで渡りが多く見られる様ですが、タカの渡りルートと、断層の関連は何らかの関係性はないのでしょうか?

② 一部

- ・池野進さんの渡りルートの推察について分かりやすい説明で興味をもった。
- ・池野氏の2ルートある渡りの話、特に早い時期のピーク。久野氏の詳細な説明が大変良かった。
- ・3グループの方のお話しを各々もっともっとお聞きしたかったです。池野さんの渡りのルートの推測はとても興味深く、引き込まれました。
- ・サシバのルートも参考になった。
- ・サシバの渡り観測データが渡りルートの検討データに参照されていた。今後は渡る方向にも注意したい。
- ・池野さんの茨城県の渡りルートのおもしろかった。
- ・東関東のサシバの渡り経路、色々問題がありそうだがおもしろかった。
- ・前半サシバの渡りのお話しは、資料の地図が不鮮明で渡りの場所がいまいち解りにくかったです。
- ・関東全体の渡りがおもしろかった。
- ・渡りの時期とルート、色々な観察地の連携、に興味を持った。
- ・第一部では関東各所で活躍するグループの活動、その活動から推測されるタカの渡りルートが非常に興味深かった。活動者を増やし、観測地点を多くする必要を痛切に感じた。

③ 二部

- ・タカの渡り勉強会お疲れ様でした。久野さんの講演が動画を交えてわかりやすく、内容も充実していたので、良い勉強会になったのではないのでしょうか。
- ・久野さんのハチクマの映像がおもしろかった(2)
- ・第二部では久野様のハチクマに対する思い入れが感じられるすばらしい講演だった。世界で初めて撮影に成功したハチクマの蜂の巣掘りの映像、クマの蜂の巣掘りと比較して違いがよくわかり、また、人間もハチクマのマネをすれば蜂に攻撃されないことも驚きだった。ご本人はあまり乗り気ではなかったようだが、
- ・ハチクマの映像から生態の一端が分かり、興味深かった。
- ・久野さんのハチクマへの想い、私もますます好きになりました。「蜂とハチクマとクマとヒト」の映像すごい!今夏はどのようなことをされるのでしょうか・・・。
- ・久野氏の多方面に亘るレベルの高い調査報告やハチクマの生態を描写した「対ハチクマ、クマ、ヒトの攻撃蜂」はとても興味深かったです。
- ・久野さんのお話しも楽しみにしておりハチクマの最新情報が聞けてよかったです。「日本のタカ」絶対買います。
- ・今回の会場で販売されていた久野氏の本を購入したので、さらに勉強するつもりです。
- ・ハチクマの生態の研究とサシバの渡りの調査研究の違いに興味を覚えた。
- ・ハチクマの移動に関して、ハチクマの数量がよく分かった。PCの説明で大変よく分かりました。
- ・平地及びハチクマは無線とのことよく観察したと思う。
- ・渡りの数の右下がりとなっているのが心配です。ハチクマの巣立ちから渡りの開始時期が早いのに驚きま

した。

- ・ハチクマの生態が詳しく分かりとても参考になった。(3)
 - ・それぞれの発表者の熱心な話は大変勉強になりました。特に、久野氏の多方面に亘るレベルの高い調査報告やハチクマの生態を描写した「対ハチクマ、クマ、ヒトの攻撃(蜂)」はとても興味深かったです。
 - ・ハチクマの観察の詳細、渡りの全体像が大変面白い。
 - ・長距離を毎年渡りを続けるのは本当に不思議であり、素晴らしい能力を持っている鳥だと思います。繁殖地～越冬地までの生息地の保全を願って止みません。
 - ・鳥の渡りは地球環境が大きく影響すると言われていています。渡りをする鳥、留鳥に関わらず人、1人1人が環境を壊さないようほんの少し気を使ってほしいと思います。鳥が毎年無事渡りをして来るように、また、渡って行けるように・・・と願うばかりです。
 - ・ハチクマの幼鳥がオオタカに食べられてしまうのは本当に残念です。オオタカがハト以外を食すのは、それだけエサ場の自然度が高いのかと思います、ひにくです。
 - ・サシバは伊良湖で幼鳥が多いのであれば、伊良湖を通る個体が減少するということは、日本産の幼鳥が減っているということでしょうか。生息環境も減っているし、放棄水田も増加しているので、サシバの将来が心配です。
-
- ・いつも迷っていたオオタカとハイタカの判別方法を教えて貰い、勉強になった。
 - ・猛禽類の判別方法も特に間違えやすいポイントを的確に説明していただき、大変参考になった。
 - ・2部識別・・・もう少し詳細(模様)に知りたかった。

④ 展示、その他

- ・カワセミ会のタカの渡り調査活動内容は、パネル展示でしたが、見ている人は少なかったようです。
- ・カワセミ会のタカの渡り活動を少しだけでも紹介したほうがよかったのではないかと感じました。
- ・識別がむずかしくてもサシバ、ハチクマとか言いながらベテランの方に教えてもらいながら見えます。ある時ベテランの方がハチクマを見てあ、ハチクマだそのうが膨らんでいるどこかで蜂の子を食べてきたなどと言っていたことを聞いた事があります。上級者といっしょに見ることは上達になります。
- ・仕事で遅れたため前半のサシバのお話し聞けませんでした。残念。

3、 今まで「タカの渡り観察会、調査等」に参加されたことがありますか。

- ・ある。(主な場所、主催団体など) 30(複数回答)

茨城県 取手戸頭地区 2 飯能市天覧山(天嵐山タカ渡り観察グループ) 2 白樺峠 5 伊良湖岬 3
守屋 2 広島 2 宇治市岩間山 2 静岡 2 矢倉岳 菜の花台 3 稲村ヶ崎 明星山(南富士支部)
埼玉県鳩山野鳥の会 野田市三ヶ尾(とりで鳥の会) 2 竜飛岬 佐倉市・千葉市・
松戸市 青梅梅の公園 友田 羽村 2 青梅市多摩川流域(奥多摩支部) 4 柳沢峠(青梅自然史研究グループ)
日の出山(青梅自然史研究グループ) 城山湖、4(カワセミ会) 松竹公園西 3(カワセミ会)

・ない。 18

*「ない」と答えた方にお伺いします。

本日のお話を聞き「タカの渡り観察会、調査等」に参加したいと思いますか。

・機会があれば参加したい。 12人

・今のところ関心がない。(出来ればその理由をお聞かせください。裏面も活用下さい。) 4人

今のところ小さい鳥たちで精いっぱいです。

ほんの少し野鳥に興味がある程度なので、今後ボチボチ様子を見たい。

4、八王子・日野カワセミ会に対するご要望・ご意見などお聞かせください。(裏面も活用下さい。)

- ・日ごろのメンバーの熱心な活動には敬服しています。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・色々な企画・発信も楽しみながら期待しています。
- ・会員以外も参加OKということ、ありがとうございました。
- ・今後も色々な鳥の勉強会を開催して欲しい。
- ・鳥好き仲間のネットワークを更に深めて頂きたい。(他のボランティアグループと)
- ・今後もこのような会があれば、話を聞きに来たいと思います。
- ・本日の勉強会を企画いただきありがとうございました。
- ・地域の長期にわたる調査活動に敬意を表します。
- ・いつも熱心な勉強会を開いていただき感謝しております。

5、サシバ、ハチクマなど渡りをするタカについて、あなたのエールを裏面に書いてみませんか。

- ・我々茨城県の観察場所はローカルな地点ですが、毎年熱心なファンと共にサシバやハチクマの渡りを楽しんでいます。今後も関東地区の皆さんと連携をとりながらファンを増やしていきたいと思っています。
- ・松竹公園西や城山湖ダムサイトを米粒のように…そしてタカ柱をたてて渡った彼らが無事目的地に着いてほしいです。
- ・サシバもハチクマもがんばれ！ いつまでもその数、姿を見せて欲しいものです。